

令和7年度

第5回埼玉県中学校体育連盟陸上競技専門委員会

期日：令和7年12月5日（金）

場所：県立スポーツ総合センター

次第

1 あいさつ

2 議題

- (1) 埼玉県新人体育大会兼第38回県民総合スポーツ大会の反省
- (2) 第93回埼玉県駅伝競走大会の反省
- (3) 令和8年（2026年）度行事日程希望（案）
 - ①行事日程（案）について（決定は2月）
 - ②各地区の記録会は、3月にわかる範囲で委員長に送付予定
- (4) 出場規定（案）について
- (5) 選考基準（案）について
- (6) 埼玉県各大会参加標準記録（案）について
- (7) 2026年度以降の大会の在り方（案）について
- (8) 栄章受章候補者（案）について
- (9) 2026年度大会申込み（案）について
- (10) 日本陸連・埼玉陸協登録について
- (11) 今後の強化対策について
- (12) その他

3 報告事項

- (1) 関東中学生選抜合宿参加者一覧
- (2) 関東陸上競技部会（11／14～15東京都で開催）
- (3) 県内強化練習会について（11／22三郷）
- (4) 大会結果 ※HPで確認
 - ①埼玉県新人体育大会兼第38回県民総合スポーツ大会
 - ②第93回埼玉県駅伝競走大会
 - ③JOCジュニアオリンピックカップU16陸上競技大会結果一覧
 - ④その他 強化練習承諾書、8年度郡市予選会報告書、8年度専門委員長報告

4 議事

- (1) 埼玉県新人体育大会兼第38回県民総合スポーツ大会の反省
 - ①前日まで
 - ・5年度より1人1種目、男女円盤投げ及び女子棒高跳び導入。
 - ・地域クラブ参加（3団体）

- ・競技役員の駐車場利用の注意喚起
- ・保護者等の撮影許可申請の周知（一眼レフ等）

②当日

- ・式典は通常通り行った。競技開始時刻と重なるため時刻要検討
- ・ルール徹底（特にシューズ、ユニフォーム、商標）
- ・シューズ違反1件、IC機器持込5件、商標はテープも確認
- ・準備、後片付けについて多々課題があった
- ・ADの名無しが多かった
- ・フィールド全種目のLANの不具合があった
- ・電光掲示係が人員不足
- ・競技時間の遅れが目立った
- ・競技役員の服装について周知が必要

③その他

- ・県駅伝の役員について確認及び文書配布
- ・関東選抜合宿、県内強化合宿、北関東大会の選手選考及び案内をした。
- ・救護 1日目2件、2日目6件
- ・今後2日目も打合せを行う

（2）第93回埼玉県駅伝競走大会の反省

①前日まで

- ・昨年度より県から中体連へ移管となり全ての運営を任された。
- ・プロの協賛ページ削除、スポンサーボード廃止など経費や労力の削減となった。
- ・締め切り日以降の予選会日程が2郡市と申込集約作業の進行が大幅に改善した。今後も予選会を締め切り日以前に設定してもらいたい。
- ・前日準備関係
 - 10時～12時半・・・競技場外のコース設置。
 - 13時半～15時半・・・競技場内及び諸室の準備。
 - 16時以降・・・最終確認
- ・競技場やコース使用について選手、応援者のマナー改善について代表者会議で周知した。
- ・前日に先導車、後尾車の4輪使用を公園側から禁止された。急遽、2輪での対応準備した。
- ・カラーコーンを新たに250購入した。昨年まで他団体のものを使用していた。

②当日

- ・6時より最終準備（折り返し、センターミニコーン、距離表示）
- ・6時半より駐車場開錠、熊谷中体連の先生方に対応してもらった。
- ・7時半、役員打合せと受付を同時進行で行った。
- ・当日の競技場やコース開放時間帯にコース上を歩いたり広がったりしている。使い方について周知する必要がある。
- ・開閉会式実施（開会式は男子中心に参加）。
- ・最終走者に腰ナンバーを配布した。
- ・記録の紙での配布はなし。
- ・スタートリストはWEB上で公開した。

- ・昨年度課題だった観戦者のマナーは概ね良かった。
- ・毎年のことだが中継所付近が混雑する。決勝審判が着順を確認するのに苦慮している。
- ・競技役員や補助役員が後片付けにとっても協力してくれた。
- ・先導車から動画配信を行った。
- ・補助競技場のコントロールや利用の仕方を明確にしていた方がよい。
- ・1区のスタートリストにビブスの番号の記載があった方がよい。
- ・1区の選手の移動時間が5分早い方がよい
- ・待機場所、W-up エリアの規制・動線・誘導を明確にする。

③その他

- ・男子の部で区間申請を間違えていた学校があった。状況を確認して認めた。監督のミスだった。
- ・スターター補助は出発係、進行係が兼任する。
- ・チアホン＝実況放送をパナソニック、テレ玉の協力のもと行った。
- ・大会終了後に学年・名前の訂正依頼があった。

(3) 2026年度行事日程希望(案)

①行事日程(案)について(決定は2月)

②各地区の記録会は、3月にわかる範囲で委員長に送付予定

(4) 出場規定(案)について

(5) 選考基準(案)について

(6) 埼玉県各大会参加標準記録(案)について

(7) 2026年度以降の大会の在り方(案)について

- ・B決勝の種目や長距離種目のラウンドを検討する。

(8) 栄章受章候補者(案)について

(9) 2026年度大会申込み(案)について

(10) 日本陸連・埼玉陸協登録について

(11) 今後の強化対策について

(12) その他 県大会参加費500円から1000円へ値上げ

令和8年度大会出場規定（案）

① 通信陸上競技大会（熊谷スポーツ文化公園陸上競技場）

- ・ メール締切 5月22日（金）地区責任者へ送信
- ・ 代表者会議 5月29日（金）県立スポーツ総合センター・講堂
- ・ 大会 6月 5日（金）・ 6日（土）

種 目（男子）（16種目）

1年100m 2年100m 3年100m
200m 400m 800m 1500m 3000m
110mH 4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳
砲丸投（5kg） 円盤投（1.5kg） 四種競技（砲丸4kg）

（女子）（14種目）

1年100m 2年100m 3年100m
200m 800m 1500m 100mH
4×100mR 走高跳 棒高跳 走幅跳
砲丸投（2.721kg） 円盤投（1.0kg） 四種競技

- 参加制限
- ・ 各支部1種目1人 ・ 1人2種目以内（リレーは除く）
 ※郡市が合併し、出場枠が増えた郡市は除く
 ※合併した郡市については従来の枠を採用する。
 ※定数を持たない郡市の合併については、専門委員長会議及び中体連本部で検討し決定する。
 ※地域クラブ等の参加可
 - ・ 標準記録は、すべて公認記録とする。（リレーは男女とも単独チーム）
 ※四種競技は郡市予選会の記録有効
 - ・ 通信陸上競技大会埼玉県標準記録を突破した者。（別表の通り）
 （四種競技は、予選会の記録も可）
 - ・ 通信陸上競技大会埼玉県標準記録突破期間は、2026年3月1日から6月の代表者会議までとする。
 - ・ 2023年度より1年男子1500m廃止、男女円盤投と女子棒高跳が追加

② 学校総合体育大会（熊谷スポーツ文化公園陸上競技場）

- ・ メール締切 7月 3日（金）地区責任者へ送信
- ・ 代表者会議 7月 8日（水）未定
- ・ 大会 7月18日（土）・19日（日）
- ・ 全国関東顧問会議（説明及び書類配布） 7月21日（火）スポーツ総合センター予定
- ・ 全国関東顧問会議（書類提出） 7月24日（金）スポーツ総合センター予定

種 目（男子）（16種目）

1年100m	2年100m	3年100m	200m
400m	800m	1500m	3000m
110mH	4×100mR	走高跳	棒高跳
走幅跳	砲丸投（5kg）	<u>円盤投（1.5kg）</u>	
四種競技（砲丸4kg）			

（女子）（14種目）

1年100m	2年100m	3年100m	200m
800m	1500m	100mH	4×100mR
走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投
円盤投（1.0kg）		四種競技	

- 参加制限
- ・ 各支部1種目1人を原則とする
 - ・ 1人1種目以内（リレーは除く）
 - ※郡市が合併し、出場枠が増えた郡市は除く
 - ※合併した郡市については従来の枠を採用する。
 - ※定数を持たない郡市の合併については、専門委員長会議及び中体連本部で検討し決定する。
 - ※リレーは男女とも1チーム（学校またはクラブ単独チーム）
 - ※地域クラブ等の参加可
 - ・ 標準記録は、すべて公認記録とする。（リレーは男女とも単独チーム）
 - 突破期間は、2026年3月から7月の代表者会議までとする。
 - ※四種競技は郡市予選会（通信大会可）の記録有効
 - ・ 新定数で行う。（2024年度より改定）ブロック定数の標準記録は廃止。
 - フィールド種目は郡市定数のみ（ブロック定数なし）
 - ・ 県通信陸上競技大会8位入賞者または入賞チーム。県通信陸上競技大会において入賞した種目に限り、その選手は出場権を得ることができる。それ以外の種目については、各支部の予選会において出場権を得た場合とする。
 - ・ 各支部の予選会に出場すること。
 - ・ 県中学生混成選手権四種競技（指定大会）の入賞者の出場権はない。
 - ・ 23年度より100m以外の学年種目廃止、男女円盤投と女子棒高跳が追加

③ 新人体育大会兼県民総合スポーツ大会 (熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)

- ・ メール締切 9月25日(金) 地区責任者へ送信
- ・ 代表者会議 10月 2日(金) 未定
- ・ 大会 10月 7日(水)・8日(木)

種 目 (男子) (15種目)

1年100m	2年100m	200m	400m
800m	1500m	3000m	110mH
4×100mR	走高跳	棒高跳	走幅跳
砲丸投(5kg)	<u>円盤投(1.5kg)</u>	四種競技	

(女子) (13種目)

1年100m	2年100m	200m	800m
1500m	100mH	4×100mR	走高跳
<u>棒高跳</u>	走幅跳	砲丸投	<u>円盤投(1.0kg)</u>
四種競技			

- 参加制限
- ・ 各支部1種目1人を原則とする
 - ・ 1人1種目以内(リレーは除く)
 - ※郡市が合併し、出場枠が増えた郡市は除く
 - ※合併した郡市については従来の枠を採用する。
 - ※定数を持たない郡市の合併については、専門委員長会議及び中体連本部で検討し決定する。
 - ※リレーは男女とも1チーム(学校またはクラブ単独チーム)
 - ※地域クラブ等の参加可
 - ・ 標準記録は、すべて公認記録とする。(リレーは男女とも単独チーム)
 - 突破期間は、2026年3月から10月の代表者会議までとする。
 - ※四種競技は郡市予選会(通信・総体可)の記録有効
 - ・ 新定数で行う。(2024年度より改定)ブロック定数の標準記録は廃止。
 - フィールド種目は郡市定数のみ(ブロック定数なし)
 - ・ 県学校総合体育大会8位入賞者。ただし、県学校総合体育大会において入賞した種目に限り、その選手は出場権を得ることができる。それ以外の種目については、各支部の予選会において出場権を得た場合とする。
 - ・ 各支部の予選会に出場すること。
 - ・ 23年度より男女円盤投と女子棒高跳が追加
- (注) 県学校総合体育大会400mR入賞チームにおいては、出場権はない。

令和8年度(2026)日程希望について

(決定は来年2月県常任委員会)

期 日 ・ 曜 日	会 議 名 ・ 大 会 名	場 所
4 / 1 5 (水)	専門委員長会議	スポ総
4 / 1 8 (土)	混成記録会プロ編成	未定
4 / 2 9 (木)	混成記録会	川口
5 / 2 9 (金)	通信陸上大会代表者会議	スポ総
6 / 5 (金) ・ 6 (土)	通信陸上大会	熊谷
6 / 1 2 (金) ・ 1 3 (土)	全国委員長会議	山口県
6 / 1 9 (金)	関東大会代表者会議	山梨県
7 / 4 (土)	混成選手権大会(指定大会)アストリンケージ大会	越谷
7 / 8 (水)	学校総合体育大会全体会	スポ総
7 / 1 8 (土) ・ 1 9 (日)	学校総合体育大会	熊谷
7 / 2 1 (火)	全国・関東大会顧問会議(説明会・書類配布)	スポ総
7 / 2 4 (金)	全国・関東大会顧問会議(書類提出)	スポ総
7 / 2 5 (土) or 8 / 1 (土)	関東大会強化練習会	熊谷
8 / 6 (木) ・ 7 (金)	関東中学陸上競技大会	山梨県甲府市
8 / 1 2 (水)	全国大会強化練習会	上尾
8 / ()	国スポ予選会	上尾
8 / 2 0 (木) ~ 2 3 (日)	全日本中学校陸上競技選手権大会	山口県
8 / 中旬	U16 ジュニアオリンピック選手選考会プロ編成	未定
8 / 2 9 (土) 予備 8 / 3 0	U16 ジュニアオリンピック選手選考会	熊谷
1 0 / 未定	日本選手権リレー リレーフェスティバル	東京都 国立
9 / 未定	長距離リレー記録会プロ編成	未定
9 / 2 6 (土)	中学生長距離リレー記録会	新座
1 0 / 2 (金)	新人戦兼県民総合スポーツ大会代表者会議	スポ総
1 0 / 7 (木) ~ 8 (金)	新人戦兼県民総合スポーツ大会	熊谷
1 0 / 1 3 (火)	新人戦兼県民総合スポーツ大会全体会	スポ総
1 0 / 2 3 (金) ~ 2 5 (日)	U16 ジュニアオリンピックカップ	三重県 伊勢
1 1 / 4 (水)	県駅伝大会代表者会議	熊谷
1 1 / 1 4 (土) or 1 5 (日)	県駅伝大会	熊谷
1 1 / 1 3 (金) ~ 1 4 (土)	関東中学校体育連盟陸上競技部会	栃木県
1 1 / 2 1 (土)	県強化練習会	三郷
1 1 / 2 8 (土) ~ 2 9 (日)	関東中学駅伝競走大会	埼玉県 熊谷
1 2 / 4 (金)	専門委員長会議	スポ総
1 2 / 1 2 (土)	関東選抜合宿参加者練習会	未定
1 2 / 1 2 (土) ~ 1 3 (日)	全国中学駅伝競走大会	滋賀県
1 2 / 2 6 (土) ~ 2 8 (月)	関東選抜合宿	茨城県
1 2 / 2 7 (日) ~ 2 9 (火)	県強化練習会	熊谷
1 / 9 (土)	県強化練習会	未定
2 / 2 0 (土)	県強化練習会	未定
3 月中旬	棒高跳講習会	八潮高校予定

(全体の代表者会議予定……………7 / 8 (水) ・ 1 0 / 1 3 (火))

※教育課程・・・県 中学校 7 / 2 9 (水)、小学校 2 8 (火)

さいたま市 中学校 7 / 2 2 (水)、小学校 2 3 (木)

陸上競技 郡市予選会ブロック制開催

2025/11/28 7:56

定数変更の理由

- ①予選会参加校数と県大会出場定数の見直し
- ②種目によって県大会の日程超過にあるためある程度出場人数を確定する。
- ③予選会の条件が違い不公平感が生じていたり記録の信憑性が問われている。またわかりづらい。

変更にあたっての確認事項

- ①地区予選会の開催形態は現行どおりを基本とし、「郡市各1位＋ブロック定数」が県大会出場権を得る。
※フィールド競技はブロック定数なし
- ②公認記録での標準記録を設けて上位者にシード権を与える。(四種競技は予選会記録可)
- ③予選会でのブロック定数の標準記録を廃止する。
- ④駅伝については現行どおりとする。

☆

	郡市 番号	郡市名	参加校数	新ブロック 参加校数	現ブロック定 数		新ブロック定 数		新校数/定数	会場
1	1	さいたま市	68	68	4	6	4	3	9.71	駒場
2	2	川口市	27	27	2	3	2	2	6.75	青木
3	3	川越市	26	26	1	3	1	2	8.67	川越
4	4	熊谷市	16	16	1	2	1	1	8.00	熊谷
5	14	所沢市	15	15	1	2	1	1	7.50	中央中
6	20	春日部市	13	13	1	2	1	1	6.50	野田
7	25	上尾市	11	11	1	1	1	1	5.50	上尾
8	26	草加市	11	11	1	1	1	1	5.50	そうか公園
9	17	狭山市	9	9	1	1	1	1	4.50	狭山台中
10	42	三郷市	8	8	1	1	1	1	4.00	セリオハウスフィールド
11	29	入間市	11	11	1	1	1	1	5.50	入間基地病院グラウンド
12	5	行田市	8	20	1	3	1	1	4.00	熊谷
13	22	加須市(北埼玉郡)	9		2		2			
14	23	羽生市	3		1		1			
15	6	北足立郡(伊奈)	5	21	1	3	1	1	4.20	鴻巣
16	21	鴻巣市	8		1		1			
17	36	桶川市	4		1		1			
18	38	北本市	4		1		1			
19	7	入間郡(三芳・毛呂山・越生)	7	19	1	3	1	1	4.75	川越
20	44	坂戸市	7		1		1			
21	46	鶴ヶ島市	5		1		1			
22	8	比企郡(川・吉・と・小・嵐・滑・鳩・東)	14	20	1	3	1	1	6.67	東松山
23	18	東松山市	6		1		1			
24	9	秩父郡(小・皆・長・横)	4	12	1	2	1	1	4.00	別所
25	15	秩父市	8		1		1			
26	10	児玉郡(美里・上里・神川)	4	10	1	2	1	1	3.33	遺跡の森
27	19	本庄市	6		1		1			
28	11	大里郡(寄居)	3	14	1	2	1	1	4.67	仙元山
29	24	深谷市	11		1		1			
30	12	南埼玉郡(宮代)	3	22	1	3	1	1	4.40	上尾
31	37	久喜市	10		1		1			
32	43	蓮田市	5		1		1			
33	49	白岡市	4		1		1			
34	13	北葛飾郡(杉戸・松伏)	6	13	1	2	1	1	3.25	野田
35	48	吉川市	4		1		1			
36	45	幸手市	3		1		1			
37	16	飯能市	9	15	1	2	1	1	5.00	飯能一
38	47	日高市	6		1		1			
39	27	蕨市	4	10	1	1	1	1	3.33	戸田
40	30	戸田市	6		1		1			
41	28	越谷市	16	21	1	2	1	1	7.00	しらこぼと
42	39	八潮市	5		1		1			
43	31	朝霞市	5	21	1	3	1	1	4.20	新座
44	33	志木市	5		1		1			
45	34	新座市	8		1		1			
46	35	和光市	3		1		1			
47	40	ふじみ野市	6	12	1	2	1	1	4.00	川越
48	41	富士見市	6		1		1			
合計			445	445	53	56	53	29	5.43	

関東中学校陸上競技大会選考基準

1. 学校総合体育大会の上位3名を原則として選出する。他種目との兼ね合いから通信陸上大会や四種競技の結果を考慮することがある。

〈選考委員〉

埼玉県中体連陸上競技専門委員長

埼玉県中体連陸上競技専門部強化委員

国民スポーツ大会選考基準 ※昨年のも、正式には埼玉陸協より提案

※選考基準、選考手順は別途定める。

※入賞可能なレベルの競技者を選考対象とする。

【選考競技会】

○日本選手権○全国高校総体○日本グランプリシリーズ○地区インカレ

○関東高校○国スポ予選会○県選手権兼国スポ予選○記録会兼国スポ予選（4月、5月、6月）

○国スポ地区予選○学校総合体育大会兼国スポ予選（高校生5月、中学生7月）○中学通信陸上

【選考方法】

①国スポ参加資格を有する競技者の中から、別途定める選考基準、手順に従い、選考競技会の結果、本年度最高記録を参考に選考する。

1) 成年

日本選手権入賞者は内定とする。（複数の場合は上位者）

※怪我等により日本選手権に出場できないがランキング上位者が同種目にいる場合は日本選手権入賞者を選考するとは限らない。

※共通種目に特筆する記録を有する高校生がいる場合は日本選手権入賞者を選考するとは限らない。

2) 少年A・少年共通

全国高校総体入賞者は選考する。（複数の場合は上位者）

※怪我等により全国高校総体に出場できないがランキング上位者が同種目にいる場合は全国高校総体入賞者を選考するとは限らない。

※共通種目に特筆する記録を有する中学生がいる場合は全国高校総体入賞者を選考するとは限らない。

※300m・300mHに関しては国スポ予選会の結果を考慮しつつ、全国高校総体入賞者を重視する。

※少年女子共通 2000mSCに関しては国スポ予選会の結果を考慮しつつ、ランキングを重視する。

3) リレー

リレー要員の選考は種目の特性を考慮する。

4) 少年B

国スポ予選会の結果を重視する。なお、条件を満たした場合内々定を出すことがある。

②少年B種目（中学3年生）内々定について

1) 特筆する記録、成績を出した者には内々定を出すことがある。ただし、ライバルがいない場合に限る。

2) 全国高校総体入賞者が複数いる場合は国スポ予選会、全国高校総体の結果を見て判断する。

3) 特筆する記録、成績とは関東中学で3位以内に入賞、その時の記録が近々3大会の国スポランク3位平均記録(別表)に到達した場合とする。なお、ハードル・砲丸投は規格が異なるため内々定対象としない。

4) 国スポ予選会で内々定者の本年度記録を上回り、入賞ラインに届いている場合はその限りではない。

5) 内々定条件をクリアした者が国スポ予選会に出場するかどうかは、内々定条件を十分理解していただいた上で各指導者に判断してもらう。(ただし、必ずエントリーをすること)

6) 故障等により内々定は取り消すこともある。

少年B種目近々3大会の国スポランク3位平均記録

男 100m10" 60 男 3000m8' 17" 07 男 走幅跳 7m06 男 砲丸投 16m11

女 100m12" 02 女 1500m4' 26" 67 女 走幅跳 5m77

令和7年度国スポ予選会出場資格について

2025.3.29 埼玉陸上競技協会強化委員会

②少年Bの中学3年生

※通信陸上、学校総合体育大会の8位入賞者。但し、その種目に限る。

※男子共通 110mJH については通信陸上、学校総合体育大会の4位入賞者。

駅伝選考内定基準

【全国都道府県対抗駅伝競走大会】

埼玉陸協駅伝委員会発出の選考基準を確認すること

ジュニアオリンピック大会出場資格(案)

【基幹種目】

申込資格記録突破者で出場種目の記録上位者

【都道府県代表種目】

選考会での最上位者

全国大会 及び 各県大会 参加標準記
【2026年度[埼玉県]】

【案1】

全国大会		種目名	通信・学校総合県大会		新人兼県民総合県大会	
男子	女子		男子	女子	男子	女子
11"05 (-0.05)	12"40 (-0.10)	1年100m	12"30 (-0.20)	13"60	12"00 (-0.30)	13"40
11"05 (-0.05)	12"40 (-0.10)	2年100m	11"70	13"20	11"50	13"05
11"05 (-0.05)	12"40 (-0.10)	3年100m	11"30 (-0.10)	12"90		
22"50 (-0.15)	25"80	共通200m	23"20	26"70 (+0.10)	23"80	27"30
51"00 (-0.40)		共通400m	52"60 (-0.30)		55"00	
1' 59"00 (-0.50)	2' 15"50 (-1.00)	共通800m	2' 02"00 (-1.00)	2' 20"00 (-2.00)	2' 07"50 (-0.50)	2' 25"00
4' 06"50 (-1.50)	4' 38"00	共通1500m	4' 16"00 (-2.00)	4' 55"00 (-1.00)	4' 25"00	5' 00"00
8' 55"50		共通3000m	9' 20"00		9' 36"00	
14"60 (-0.10)		共通110mH	15"30 (-0.30)		16"50	
	14"50 (-0.10)	共通100mH		15"40 (-0.10)		16"00
1チーム	1チーム	共通4×100mR	44"80 (-0.20)	51"30	46"00 (-0.50)	52"30
1m86 (+1cm)	1m60	共通 走高跳	1m75	1m48 (-1cm)	1m65	1m43
4m00		共通 棒高跳	3m40	2m40	3m00	2m20
6m60	5m40	共通 走幅跳	6m10 (+10cm)	5m00	5m70	4m80
13m40 (+10cm)	12m50	共通 砲丸投	11m20 (+20cm)	10m50	10m00	9m80
		共通 円盤投	30m00	25m00	28m00	22m00
2580点 (+80点)	2650点 (+20点)	共通 四種競技	2000点	2000点	1700点	1800点
「通信陸上 県大会」 または 「学校総合 県大会」 にて、上記記録を突破 すると全国大会に出場 できる。 ただし、四種競技のみ 他にも指定大会あり。		備 考	「県大会ベスト8(1500と3000はベスト16)」に 相当する記録となっている。 指定期間内に「公認記録」で上記を突破すること。 (各郡市予選会の記録は公認記録ではない) ただし四種競技のみ、各郡市予選会の記録でも 県大会出場権を獲得できる。			

競技日程

【令和8年度】

通信陸上 1日目【案】

1人2種目まで
(リレーは除く)

トラック競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	着取+α
1	中学男子四種競技 110mH(0.914m)	トラック	決 勝	1	
2	中学女子100mH(0.762m)	トラック	予 選	7	0着+16
3	中学3年男子100m	トラック	予 選	9	0着+16
4	中学2年男子100m	トラック	予 選	7	0着+16
5	中学1年男子100m	トラック	予 選	7	0着+16
6	中学男子1500m	トラック	予 選	4	0着+16
7	中学女子200m	トラック	予 選	7	0着+16
8	中学男子400m	トラック	予 選	7	0着+8
9	中学女子800m	トラック	予 選	8	0着+8
10	中学女子100mH(0.762m)	トラック	決 勝	2	
11	中学3年男子100m	トラック	決 勝	2	
12	中学2年男子100m	トラック	決 勝	2	
13	中学1年男子100m	トラック	決 勝	2	
14	中学女子200m	トラック	決 勝	2	
15	中学男子1500m	トラック	決 勝	1	
16	中学男子400m	トラック	決 勝	1	
17	中学女子800m	トラック	決 勝	1	
18	中学男子4×100mR	トラック	予 選	7	0着+8
19	中学女子4×100mR	トラック	予 選	6	0着+8
20	中学男子四種競技 400m	トラック	決 勝	1	

跳躍競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	
1	中学女子走高跳	Aゾーン	決 勝	2	
2	中学男子走幅跳	メイン	決 勝	2	
3	中学男子棒高跳	バック	決 勝	1	
4	中学男子四種競技 走高跳	Aゾーン	決 勝	1	

投てき競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	
1	中学男子円盤投(1.500kg)	投てき場	決 勝	1	
2	中学男子四種競技 砲丸投(4.000kg)	Bゾーン	決 勝	1	
3	中学女子砲丸投(2.721kg)	Bゾーン	決 勝	1	

競技日程

【令和8年度】

通信陸上 2日目【案】

1人2種目まで
(リレーは除く)

トラック競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	着取+α
1	中学女子四種競技 100mH(0.762m)	トラック	決 勝	2	
2	中学男子110mH(0.914m)	トラック	予 選	7	0着+16
3	中学3年女子100m	トラック	予 選	7	0着+16
4	中学2年女子100m	トラック	予 選	7	0着+16
5	中学1年女子100m	トラック	予 選	7	0着+16
6	中学男子200m	トラック	予 選	7	0着+16
7	中学男子800m	トラック	予 選	7	0着+8
8	中学女子1500m	トラック	タイムレース	4	
9	中学男子110mH(0.914m)	トラック	決 勝	2	
10	中学3年女子100m	トラック	決 勝	2	
11	中学2年女子100m	トラック	決 勝	2	
12	中学1年女子100m	トラック	決 勝	2	
13	中学男子200m	トラック	決 勝	2	
14	中学男子3000m	トラック	タイムレース	3	
15	中学男子800m	トラック	決 勝	1	
16	中学女子4×100mR	トラック	決 勝	1	
17	中学男子4×100mR	トラック	決 勝	1	
18	中学女子四種競技 200m	トラック	決 勝	2	

跳躍競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	
1	中学女子走幅跳	メイン	決 勝	2	
2	中学女子棒高跳	バック	決 勝	1	
3	中学女子四種競技 走高跳	Aゾーン	決 勝	1	
4	中学男子走高跳	Aゾーン	決 勝	2	

投てき競技

		(予想)			
順序	競技名	競技場所	ラウンド	組数	
1	中学女子円盤投(1.000kg)	投てき場	決 勝	1	
2	中学男子砲丸投(5.000kg)	Bゾーン	決 勝	1	
3	中学女子四種競技 砲丸投(2.721kg)	Bゾーン	決 勝	1	

県大会に出場するには (令和8年度[埼玉県])

12月5日【案】

昨年度からの変更なし

		通信陸上県大会 1人2種目まで(リレーは除く)	学校総合県大会 1人1種目(リレーは除く)	新人戦県大会 1人1種目(リレーは除く)	埼玉駅伝県大会
シード枠 郡市枠 ブロック枠	①	県大会参加標準記録を、指定期間(3月1日から代表者会議日まで)に突破した選手またはチーム。 (※) 【要 公認記録(予選会の記録×)】 郡市予選会への出場は <u>必須ではない</u> 。	① 県大会参加標準記録を、指定期間(3月1日から代表者会議日まで)に、突破した選手またはチーム。 (※) 【要 公認記録(予選会の記録×)】 郡市予選会で、同種目に出場する必要がある。	① 県大会参加標準記録を、指定期間(3月1日から代表者会議日まで)に、突破した選手またはチーム。 (※) 【要 公認記録(予選会の記録×)】 郡市予選会で、同種目に出場する必要がある。	① 前年度の埼玉駅伝県大会において、10位までに入賞した学校数の分だけ、 【郡市】に対して県大会出場シード枠が与えられる。 (学校に対して枠が与えられるのではない)
	②	上記①を除き、各郡市の予選会1位の選手・チーム。 (さいたま市は4位まで、 川口市・加須市は2位まで)	② 前回の通信陸上県大会で、8位までに入賞した選手またはチーム。 郡市予選会で、同種目に出場する必要がある。 (この権利は他に譲ることはできない)	② 前回の学校総合県大会で、8位までに入賞した選手。 郡市予選会で、同種目に出場する必要がある。 (この権利は他に譲ることはできない)	② 上記①を除き、各郡市の予選会1位の学校・チーム。 (さいたま市は4位まで、 川口市・加須市は2位まで)
	④	(なし)	④ 【リレーを除くトラック種目のみ】 上記①②③を除き、予選会の【ブロック】で上位1名。 (さいたま市は上位3名まで、 川口市・川越市は上位2名まで)	④ 【リレーを除くトラック種目のみ】 上記①②③を除き、予選会の【ブロック】で上位1名。 (さいたま市は上位3名まで、 川口市・川越市は上位2名まで)	(なし)

※四種競技のみ予選会の記録(得点)が有効

※四種競技のみ予選会の記録(得点)が有効

※四種競技のみ予選会の記録(得点)が有効

令和8年度以降の大会の在り方について（案）

（1）通信陸上競技大会

- ①通信陸上大会参加標準記録突破期間について
令和8年3月～通信陸上大会代表者会議まで
- ②通信陸上大会の標準記録4月の会議で確認。
- ③1年1500m廃止。男女円盤投と女子棒高跳追加。
- ④通信陸上競技大会100m、200m、100mH、110mH準決勝廃止。
※AB決勝導入 200mB決勝は廃止の方向性
- ⑤フィールドは全て決勝のみとする。（人数を考慮して予選実施もある）
- ⑥男子1500mは決勝のみとする。

（2）学校総合体育大会

- ①出場制限を1人1種目とする。
- ②100m以外の学年種目を廃止。男女円盤投、女子棒高跳を追加。
- ③上位3名及び3チームは関東大会の出場権を得る。他種目との兼ね合いから通信陸上大会や四種競技の結果を考慮することがある。
- ④4×100mリレーで優勝チームが全国大会出場。上位3チームは、関東大会出場。
- ⑤公認の標準記録とする。突破期間は令和8年3月～7月代表者会議まで、男子1500m決勝のみとする

（3）新人大会

- ①出場制限を1人1種目とする。
- ②100m以外の学年種目を廃止。男女円盤投、女子棒高跳を追加。
- ③団体表彰あり。（H19年度より）
- ④公認の標準記録とする。突破期間は令和8年3月～10月代表者会議まで
- ⑤100m及びハードルはB決勝を行う

（4）3大会共通

- ①スタート方法……フライング1回目失格。不適切行為は適用しない。
- ②フィールド競技 → 決勝のみとする。
- ③走高跳の競技方法については、2ピットで決勝とする。
- ④四種競技は、1日目男子、2日目女子
（ルール上2日間開催が認められているが、埼玉県では2日間には分けない方向）
- ⑤郡市定数の確認。（別紙確認）予選会でのブロック枠の標準記録を廃止。令和5年度より学総体・新人は1人1種目とする。通信は陸連の要項に準ずる。
- ⑥棒高跳……県大会出場枠は、他の種目と同様とする。

（5）埼玉県駅伝競走大会（埼玉県駅伝競走大会実行委員会主催）

- ①基本的に現行通り、主管が中体連陸上競技専門部となる。
- ②来年度も記録集計でDタグ（自動記録装置）導入。
- ③協賛業者の確保

（6）混成指定大会（全国大会標準記録突破指定大会）

- ①6月末～7月上旬に混成大会を県選または地域大会に位置づけて大会を行う。
全国大会の予選会とし、指定大会とする。※競技場の確保が難しいため。

今年度の大会反省ならびに今後の課題

2025年は34年ぶりに東京で世界陸上が開催されるなど陸上競技に注目が集まった1年となりました。中学陸上は部活動改革が進み学校での活動が縮減されていく中で微増ではありますがクラブが中体連主催大会に参加することに違和感を覚えなくなりました。一方で指導者不足や質の担保、教員の指導者としての立ち位置や学校施設活用など新たな課題が生まれています。現状は、学校とクラブの活動をうまく両立させながら活動時間や場所を確保している状況が多くなってきています。

さて、埼玉中学陸上ですが、全国での活躍はここ数年定着してきましたが、昨年度は関東大会でチーム埼玉として優勝がひとつも取れなく悔しい思いをしました。個の力をチームの力に、をテーマに7年度を迎えました。今年度は、関東大会で男子総合優勝、女子4位、男女2位と2年連続同成績でしたが男女総合優勝へあと1歩という成果のある結果でした。また、全中大会では棒高跳びの大森、飯塚（片柳）の1・2位、男子4継では栗橋東が埼玉勢初となる優勝など17種目入賞（総合1位）と大健闘しました。三重でのジュニアオリンピックカップでも7種目入賞と健闘しました。駅伝大会でも活躍が期待されます。

部活動は改革実行期間として更なる縮減がされていく方向となります。既に土日の廃止を決定している自治体も増えてきました。埼玉県はこれまで部活動で強化を図ってきました。教育活動の一環として学校と地域がより連携を深めて、陸上競技を行う中学生と教える指導者、支える家族が満足できる陸上環境をより一層整えていく必要があります。それには我々教員も陸上競技を行う中学生が満足できるような環境を作っていく必要があります。新しい陸上王国埼玉を皆で作しましょう。

☆今後の強化計画および方針

〈今後の強化基本方針と強化対策〉

- (1) 短期重点強化
全国中学山口大会、関東中学栃木大会・令和8年度対策
- (2) 中期重点強化
全国中学滋賀大会・令和9年度対策
全国中学埼玉大会・令和10年度対策
- (3) 一般強化
関東中学選抜合宿、県内練習会対策
- (4) 全国・関東中学駅伝競走大会強化対策の推進
- (5) 競技者の環境整備と指導者の資質向上
 - ①地域練習会、種目別強化練習会の実施
 - ②指導者の全国的視野の拡大

〈今後の主要競技会の目標〉

- (1) 関東中学山梨大会（令和8年度）の目標
男子総合優勝、女子総合優勝、男女総合優勝
単独チームによる 男子 400mR 3位以内入賞、女子 400mR 3位以内入賞
- (2) 全国中学山口大会（令和8年度）の目標
メダル獲得5個。8位入賞10種目。
- (3) 全国中学駅伝大会、関東中学駅伝大会の目標
全国中学駅伝大会……男女とも入賞

関東中学駅伝大会……男女とも2チーム入賞

- (4) ジュニアオリンピック大会及びU16リレーの目標
メダル獲得3個。8位入賞5種目。

〈今後の具体的な強化対策〉

- (1) 指導者、競技者を各種大会へ派遣して競技力の向上を図る。
(2) 効率的な強化競技者の合宿、種目別・ブロック別の強化練習会・合宿により
競技力の向上を図る。
(3) 目標大会で存分に競技力を発揮し、好成績を収めることができる代表選手へ
の支援をする。
(4) 傷害防止対策を推進する。
(5) 専門部の基本理念、指針、方針の共通理解の徹底を図る。
(コーチとの連携・強化を図る)
(6) クラブチームとの連携を図る。

〈種目別の強化対策〉

- (1) 短期重点強化対策
(全国中学山口大会、関東中学山梨大会・令和8年度対策)
①担当コーチと競技者が連絡を取り合っの競技力向上と調整
②重点強化ブロックの調整合宿と練習会の実施
③大会に関する情報収集の徹底
- (2) 中期重点強化対策
全国中学滋賀大会・令和9年度対策
全国中学埼玉大会・令和10年度対策
①専門部、種目担当コーチとの連携強化
②重点強化ブロックの練習会の充実
③U13, U16強化策の充実
④医科学対策
⑤長距離種目の強化のために、特化した練習会の計画実行
- (3) 一般強化（関東中学選抜合宿、県内練習会対策）
①重点種目対策の強化
②関東選抜合宿強化競技者の指定
③ブロック練習会、合宿の充実
- (4) 全国・関東駅伝大会強化対策の推進
①出場校の合同練習会実施
②長距離ブロック練習会の実施
- (5) 競技者の環境整備と指導者の資質向上
①地域、種目別強化練習会の実施
②指導者の関東・全国的視野の拡大
- (6) ジュニア強化対策
①小学生クラブチーム、U13、U19との連携
②埼玉陸協が実施している「競技者・指導者育成プログラム2030」との連携
③高校生との合同練習会実施
④ブロック合宿、練習会の工夫
⑤練習計画の共有化

第52回全日本中学校陸上競技選手権大会の反省と今後の強化対策について

1. 大会の総括（成績に関してのみ）

- ① 3位以内入賞数 ……7種目（25 JOC ……4種目）
- ② 延べ入賞数 ……17種目（25 JOC ……7種目）
- ③ 冬の練習不足や競技力を発揮できない選手がいた。
- ④ 学校とクラブとの両立をしている選手が力を発揮している。
- ⑤ 部活動だけでは練習不足が否めない。
- ⑥ 怪我による欠場が目立った。
- ⑦ 指導者の質の担保が課題。

2. 埼玉県選手団の評価

① 10年間の比較（1位・2位・3位・4～8位）

	41回(H26) 香川	42回(H27) 北海道	43回(H28) 長野	44回(H29) 熊本	45回(H30) 岡山	46回(R1) 大阪
第1位	1	3	0	0	1	2
第2位	0	1	0	0	1	4
第3位	0	1	2	2	0	2
4位～ 8位	3	5	4	5	4	4
合計	4	10	6	7	6	12
	47回(R2) 三重	48回(R3) 茨城	49回(R4) 福島	50回(R5) 愛媛	51回(R6) 福井	52回(R7) 沖縄
第1位	中止	2	0	2	1	2
第2位		4	0	1	0	4
第3位		1	0	5	1	1
4位～ 8位		4	2	4	10	10
合計		11	2	12	12	17

- ※ 4位～8位の入賞者が増えた。
- ※ 女子の競技力向上が課題。
- ※ クラブを活用している選手の成績向上が著しい。
- ※ フィールド種目の入賞数が少ない。
- ※ 特定の種目に特化した強化を図っている都道府県がある。

② 10年間の比較（各種目別8位入賞及び決勝進出者順位）

男子 13種目	43回 平28 長野	44回 平29 熊本	45回 平30 岡山	46回 令1 大阪	47回 令2 三重	48回 令3 茨城	49回 令4 福島	50回 令5 愛媛	51回 令6 福井	52回 令7 沖縄
100m	3位	0	0	0	中止	0	0	8位	4位	3,6位
200m	0	0	0	0		7位	0	0	0	4位
400m	0	8位	0	0		0	0	0	0	0
800m	5位	5位	0	2,3,6位		0	0	3位	0	5,6位
1500m	0	3位	12位	1位		0	14位	7位	0	0
3000m	3位	0	0	1,2位		0	0	18位	6位	0
110mH	0	0	0	0		1位	0	0	0	2,7位
走高跳	0	0	1,8位	0		1位	0	1,3位	7位	7位
棒高跳	0	0	0	0		2位	8位	1,3位	1,3位	1,2位
走幅跳	0	0	0	0		0	0	0	0	0
砲丸投	0	0	5位	0		0	0	0	0	0
混成	18位	0	25位	8位		0	17位	6位	6,7位	0
400mR	0	5位	2位	0		0	0	0	6位	1位

女子 10種目	43回 平28 長野	44回 平29 熊本	45回 平30 岡山	46回 令1 大阪	47回 令2 三重	48回 令3 茨城	49回 令4 福島	50回 令5 愛媛	51回 令6 福井	52回 令7 沖縄
100m	6位	4位	0	0	中止	7位	0	0	4位	0
200m	0	0	0	0		0	6位	3位	6位	4位
800m	6位	0	7位	2,8位		2位	0	0	0	2,6位
1500m	13位	0	0	2,11位		0	0	0	4位	2位
100mH	0	0	0	0		0	0	0	0	0
走高跳	0	0	0	0		6位	0	0	0	0
走幅跳	0	3位	12位	0		2,6位	0	0	0	6位
砲丸投	0	0	0	0		0	0	0	7位	0
混成	0	0	7,10,12位	3,8位		3位	0	2位	0	8位
400mR	5位	7位	0	0		2位	0	7位	0	8位

③ 結果が残せなかった原因（過去含む）

- 練習不足
- ピーキングがうまくいかなかった。
- 怪我によるコンディショニング不良が目立った。
- 選手の管理ができていない。
- 2ラウンドで戦う難しさがあった。風など。
- コンディショニング作りについて勉強不足。（食事・水分・暑さ等）
- 関東や全国大会出場が目標の選手が多く、全国で戦うという気持ちが全面に出ない選手がいた。

3. 今後の対策について

(1) 強化組織の改革

※ 地域での強化組織の確立。

① 強化部の組織を見直す。

・ブロック責任者、種目責任者を明確にして、組織化を図る。

② 重点強化種目、特別プロジェクト単位の明確化

③ ブロックでの練習会の実施。（棒高跳は実施）（引率の問題あり）
（埼玉陸協とのタイアップ）

(2) 競技力の向上

※ 重点強化プロジェクト

☐ 男女の走幅跳び ☐ 男女の投擲種目

☐ 男女のハードル

☐ 小学生の強化対策（埼玉陸上競技協会普及部との関わり）

※ 他県との交流促進（生徒派遣・指導者派遣）

※ 関東都県以外との交流

※ 重点種目の選手派遣

※ 小学生やクラブとの積極的な強化対策（練習会に招聘）

※ 傷害防止対策（医科学的な知識）

(3) ピーキングについて

○顧問の先生との連携、サポート

○大会までの調整の仕方

○その他

(4) その他

○強化競技者の研修会

○指導者の研修会、講習会の実施 ※資格を取得させる

○他県から指導者を招いての講習会

○本県の指導者（中学・高校・一般）を招いての講習会の実施

○埼玉県強化プログラムの作成。練習マニュアルの作成。

○その他

指導者育成に向けてのプロジェクトⅠ 2006～2008
プロジェクトⅡ 2009～2011
プロジェクトⅢ 2012～2014

オリンピック選手育成プログラム 2015～

埼玉県中体連陸上競技専門部

プロジェクトⅢは、2014年で終了しました。

2015年からは、オリンピック選手育成のために、プロジェクトを策定し、具体的な課題を見つけ実践していきたいと思います。

新たなプロジェクトを企画・提案し「飛翔埼玉」を創り上げていきたいと考えます。

埼玉陸協は競技者・指導者育成プログラム 2010 が終わり、新に競技者・指導者育成プログラム 2020 を立ち上げ、小学生・中学生・高校生・シニア・指導者それぞれの年代で強化指定選手として練習会・合宿を開催するとともに、指導者への講義を行っています。

中体連も協力するとともに指導者の育成や指導法の研究等も考えながら活動していきたいと思います。

(参考) (2012～2014 のプロジェクトⅢ)

プロジェクトⅢでは、フィールド種目を重点種目として、「挑戦する埼玉」を創り上げてきました。強化部を中心に、埼玉陸協の強化普及の 2020 強化練習会・中体連独自の練習会・合宿・関東合宿などによってフィールドは少なながらレベルは上がりました。しかし、ここ数年は女子の記録低下がみられ、関東・全国での入賞者が激減しています。

(参考) (2009～2011 のプロジェクトⅡ)

3年間のプロジェクトⅠは、2008年で終了しました。3年間の結果は、数字を見ると少なながら向上しています。これも強化スタッフの献身的な努力と各地区での合同練習、各郡市の練習会、各郡市の専門委員長・強化を携わる先生方を中心とした成果の賜と感謝申し上げます。

プロジェクトⅠは、3年間で終了しましたが、2009～2011の次のステップで、新たなプロジェクトを企画・提案し「新時代を切り開く埼玉」を創り上げていきたいと考えます。

(参考) (2006～2008 のプロジェクトⅠ)

ここ数年の埼玉県中体連の陸上競技は、全体的にレベルの低下は否めません。唯一の救いは中長距離陣の踏ん張りです。全国駅伝の優勝を含め、中長距離のレベルは確実に上がっています。中長距離陣は、独自に研修を重ね、指導方法を磨いていった結果といえます。そこで、埼玉県全体を見直した時、このままでは、さらなる大きな飛躍が臨めません。そこで、全体の意識改革を図るべく「指導者養成プロジェクト」を提案します。我々指導者が意識を変え、常勝埼玉の今までのイメージを捨て「新たな常勝埼玉」の図式を我々の自らの手で創り上げましょう。3年計画を予定しています。

記

趣 旨	先輩方の手によって築かれた常勝埼玉を、自分たちのものにするために自らの力で指導者の育成を図り、競技力の向上を目指すものとする。
対 策	<ul style="list-style-type: none"> ①指導者育成のために、研修を図る。 ②埼玉県全体を見通せる視野を育成し、これからの埼玉を担う指導者を育成する。 ③中体連陸上競技専門部の強化部を中心に実行する。
具体案	<ul style="list-style-type: none"> ①強化部長は、補強が必要と思われる種目別強化順位を作成する。 ②強化副部長を中心に、各都県で行われている強化練習会や講習会などをリサーチする。 ③強化部長は、日程の調整を図り、各種目で各都県の練習会などに積極的に参加させるよう計画案を作成する。 ④研修終了後、写真入りの報告書を作成する。 ⑤報告書の内容は、現時点の埼玉の種目別問題点と、その改善について明記し、さらなる飛躍のためにどうすべきかを具体案として提案する。 ⑥各地域で使うことができ、学校の指導者が参考となるものを作成する。

埼玉県中体連陸上競技専門部 普及強化について

- 1 埼玉陸協2030とのつながり
- 2 小学生やクラブチームとの連携
- 3 中体連陸上競技部の普及部のあり方・・・小学生大会への派遣
練習会への派遣
記録の整理
クラブチームとの連携
- 4 ブロックミーティング
- 5 練習会のあり方・・・コントロールテスト（埼玉バージョン）の実施
小学生やクラブチームの参加
レベルで練習内容を変える。質も本数も。普及と強化
練習メニューの統一
- 6 関東・全国大会練習会を合宿にしたい
- 7 選手団のウェア・Tシャツ・グッズの担当者を決めて、提案する
- 8 指導者の増員、若手の指導者の発掘
強化スタッフの選定
スタッフジャージ、ポロシャツ
- 9 顧問とのミーティング
- 10 種目別の強化策が必要
- 11 競技会の持ち方・・・U16ジュニアオリンピック選考会の在り方
(本大会の予選及び普及種目の導入)
- 12 競技会の持ち方・・・長距離記録会の種目検討
- 13 種目のコーチ制・・・大会、練習など顧問との連絡
- 14 他種目へのトランスファー
- 15 種目のクリニック
- 16 他県との交流
- 17 クラブチームとの連携

これまでの意見から読み取ったつもりです。箇条書き・順不同で書きました。

令和7年度 栄章受章候補者（案）について

（1）日本陸連

・優秀指導者章

【市川 貴子 先生】（白岡 市立 南 中学校 教諭）

県中体連陸上競技専門部部員（常任委員）として尽力した。また、強化委員としても競技力向上に貢献した。陸上競技部顧問としても上位大会で活躍する数々の選手を育成した。

・優秀選手章

【大森 蒼以 さん】（さいたま 市立 片柳 中学校 3年）

関東陸上大会の棒高跳において日本中学記録を樹立した。今年度の全国大会で優勝した。国民スポーツ大会少年共通棒高跳の埼玉県代表選手であり4位入賞した。また、3年間を通して陸上競技だけでなく、中学生としても学業、生活面など他の模範となる人物である。

（2）埼玉県中体連

・押田体育章

男子【笠原 涼我】（久喜市 立 栗橋東 中学校 3年）

【岡田 健太】（久喜市 立 栗橋東 中学校 3年）

【本石 旺来】（久喜市 立 栗橋東 中学校 3年）

【岡田 康太】（久喜市 立 栗橋東 中学校 3年）

今年度4×100mRにおいて関東大会、全国大会で日本中学記録を樹立して優勝した。また、3年間を通して陸上競技だけでなく、中学生としても学業、生活面など他の模範となる人物である。

・押田体育章

男子【大森 蒼以 さん】（さいたま 市立 片柳 中学校 3年）

関東陸上大会の棒高跳において日本中学記録を樹立した。今年度の全国大会で優勝した。国民スポーツ大会少年共通棒高跳の埼玉県代表選手であり4位入賞した。また、3年間を通して陸上競技だけでなく、中学生としても学業、生活面など他の模範となる人物である。

女子【該当なし】（ 立 中学校 年）

上記の者を、公益財団法人日本陸上競技連盟及び埼玉県中学校体育連盟栄章委員会に推薦いたします。

埼玉県中学校体育連盟陸上競技専門部

令和8年度各郡市専門委員長及び予選会報告について

次年度の連絡用名簿の作成及び予選会の集約をしますので、名簿については載せられる範囲でご記入ください。予選会については決まり次第の報告をお願いいたします。報告方法については下記の通りとなります。よろしくお願いいたします。

記

1 報告方法 google フォーム

【専門委員長】



<https://forms.gle/Rzendpp9ZhaJf4CF8>

【郡市予選会】



<https://forms.gle/pgLaXiznVhW3Gd4V6>

2 問い合わせ

川口市立安行東中学校内 中村信悟

川口市大字安行34

電 話 048-294-2789

Mail rythnon@gmail.com

FAX 048-294-2796

中村携帯 090-9345-7867